



響き合う 10 人の絆 ～池島小・神浦小 合同体育祭～

5月24日(日)池島小学校としては最後となる体育祭。両校合わせて2校10名という少人数での開催となりましたが、人数が少ないからこそ、一人ひとりの輝きが際立つ、中身のぎゅっと詰まった素晴らしい体育祭となりました。

💡 少人数だからこそその輝きと、地域との一体感

これまでに十分鍛え上げられてきた一糸乱れぬ「集団行動」や、全員に何度も見せ場がある競技構成は、子どもたち一人ひとりの大きな成長を感じさせるものでした。また、保護者の皆様や地域の方々も競技に全力で参加してくださり、趣向を凝らした様々なチャンス競技で会場は大盛り上がり！学校と地域が一つになる、温かい笑顔に包まれた1日となりました。

🎵 笑顔と拍手に包まれたプログラム

- ・ 息の合った表現：力強い「ソーラン節」や、可愛らしく会場を沸かせた「チェッコリ玉入れ」。
- ・ 工夫を凝らした応援合戦：「ラッコの親子」が登場するユニークな劇を取り入れた応援披露など、子どもたちのアイディアと元気が光っていました。

🏠 「体育館開催」という新たな試み

私にとって初めての経験となった、運動場ではなく「体育館」での体育祭。屋外開催に比べて熱中症のリスクを抑えられるという大きな利点もあり、終始安全に、そして快適に競技に打ち込むことができました。これからの時代に合った、新しい体育祭のカタチを実感いたしました。

🏆 閉会式に寄せたメッセージ：「学校生活のスポーツマンに」

閉会式の挨拶では、子どもたちに向けて「学校生活のスポーツマンになろう」という話を贈りました。この体育祭に向けた練習や本番の取組を通じて、子どもたちは多くのことを学びました。仲間と協力すること、最後まで諦めないこと、お互いを称え合うこと——。ここで得た学びを、これからの日常の学校生活で発揮しようとするのが、「スポーツマン精神」です。きっと子供たちはそうであると思っています。

10 人の子どもたちが創り上げた、小さくとも最高に熱かった体育祭でした。

大会スローガン「勝っても負けても笑顔でゴール」は達成です！